

2020年度 センター研究員・研究協力者

センター研究員

名前	所属部局	職名	研究班
小熊 誠 (センター長)	歴史民俗資料学研究科	教授	1・5
熊谷 謙介 (運営委員・副センター長 (編集担当))	外国語学研究科欧米言語文化専攻	教授	3
孫 安石 (運営委員・主任研究員 (国際交流担当))	外国語学研究科中国言語文化専攻	教授	4
後田多 敦 (事務局長 (運営委員・研究事務総括・編集担当))	歴史民俗資料学研究科	准教授	5
大川 啓 (運営委員 (研究会担当))	歴史民俗資料学研究科	准教授	7
中林 広一 (運営委員 (編集担当))	国際日本学部国際文化交流学科	准教授	2
内田 青蔵	工学研究科建築学専攻	教授	4
大串 潤児	信州大学人文学部	教授	7
大里 浩秋	神奈川大学	名誉教授	4
加治 順人	宗教法人 沖縄県護国神社	宮司	5
菊池 敏夫	非文字資料研究センター	客員研究員	4
木下 宏揚	工学研究科電気電子情報工学専攻	教授	6
小松原 由理	上智大学文学部ドイツ文学科	准教授	3
坂井 久能	国際日本学部 歴史民俗学科	特任教授	5
佐野 賢治	歴史民俗資料学研究科	教授	6
ジョン・ボチャラリ	東京大学	名誉教授	1
菅 浩二	國學院大學神道文化学部	教授	5
須崎 文代	工学部建築学科	特別助教	4
鈴木 陽一	外国語学研究科中国言語文化専攻	教授	1・2
ステファン・ブッヘンベルグ	外国語学研究科欧米言語文化専攻	教授	3
津田 良樹	非文字資料研究センター	客員研究員	5
中島 三千男	神奈川大学	名誉教授	5
能登 正人	工学研究科電気電子情報工学専攻	教授	6
彭 国躍	外国語学研究科中国言語文化専攻	教授	4
前田 孝和	株式会社神社新報社	相談役	5
松浦 智子	外国語学部中国語学科	准教授	2
宮田 純子	芝浦工業大学情報通信工学科	准教授	6
村井 寛志	外国語学研究科中国言語文化専攻	教授	4
森住 哲也	工学部電気電子情報工学科	特別助教	6
森山 優	静岡県立大学国際関係学部大学院国際関係学研究所	教授	7
安田 常雄	非文字資料研究センター	客員研究員	7

研究協力者

名前	所属部局	職名	研究班
新垣 夢乃	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部	助教	7
稲宮 康人	写真家	-	5
王 京	北京大学外国語学院日本語学科	教授	2
大木 康	東京大学東洋文化研究所	教授	2
加藤 里織	歴史民俗資料学研究科	博士後期課程	5
何 彬 (カヒン)	東京都立大学人文社会学部	教授	1
吉川 良和	一橋大学言語社会研究科	特任教授	2
君 康道	東京大学大学院総合文化研究科	講師	1
小松 大介	沼津市歴史民俗資料館	臨時嘱託職員	6
小山 亮	公益財団法人広島平和文化センター	研究員	7
鈴木 一史	埼玉県立歴史と民俗の博物館	学芸員	7
田島 奈都子	青梅市立美術館	主査 学芸員	4
田中 里奈	明治大学国際日本学部	助教	3
張韜 (チョウトウ)	外国語学研究科	博士後期課程	2
富井 正憲	株式会社金星総合建築士事務所	理事	4
富澤 達三	松戸市立博物館	学芸員	7
原田 広	非文字資料研究センター	研究協力者	7
松本 和樹	非文字資料研究センター	研究協力者	7
松山 紘章	民俗民俗資料学研究科	博士後期課程	5
山口 建治	神奈川大学	名誉教授	2
嚴 明	上海師範大学人文学院	教授	2
李 利 (リリ)	非文字資料研究センター	研究協力者	1
渡邊 奈津子	公益財団法人大学基準協会	調査員	5

- 研究班：1. 『マルチ言語版絵巻物による日本常民生活絵引』の編纂共同研究
 2. 中国近世・近代における生活・風俗の研究
 3. 〈メディア〉と〈身体〉から見る20世紀ヨーロッパのポピュラー・カルチャー
 4. 東アジア開港場（租界・居留地）における都市の発展と建築調査
 5. 「帝国日本」境界の祭祀再編と海外神社
 6. 非文字資料の流通過程における諸問題を解決するための機械学習やブロックチェーンなどを応用した基盤技術に関する研究
 7. 戦時下日本の国策紙芝居研究



神奈川大学日本常民文化研究所 2019年度の刊行物



歴史と民俗 36
[特集 民具研究の新時代]
 神奈川大学日本常民文化研究所
 編 発行／平凡社
 ●2020年2月発行
 今号は、第22回常民文化研究講座・国際研究フォーラム「アジア民具研究の可能性—民具体系と生活構造の比較から」(2018年12月)をもとに、特集「民具研究の新時代」として構成、そのほか所員・研究員による一般論考3本、研究ノート2本、史料紹介1本が掲載されている。



島のスケッチ帖
二神司朗が見た二神島
二神島絵画資料集
 神奈川大学日本常民文化研究所
 編集・発行
 ●2020年3月発行
 二神司朗氏は戦国期以来の二神家文書を伝えた二神家最後の当主である一方、洋画家としても活躍した。本書は司朗氏が遺した膨大なスケッチの中から、特に二神島やその周辺を描いたものを350点選び、「絵画資料集」としたものである。刊行に至る経緯、司朗氏の画家としての軌跡等についての論考も付した。本書は共同研究「瀬戸内海の歴史民俗」の成果である。



離宮八幡宮文書目録(二)
近代・現代編 1
山城国乙訓郡大山崎荘
(京都府乙訓郡大山崎町)
 神奈川大学日本常民文化研究所
 編集・発行
 ●2020年3月発行
 中世において大山崎油(座)神人の在所として、また「自治都市」が形成された場として著名な大山崎地域に遺された、近世・近代の在地文書の悉皆調査の成果。本書は、既刊『離宮八幡宮文書目録(一)近世編』(2019年3月刊)の続巻として、近現代文書全2889点の目録を所載。



岩倉寺文書目録
一石川県鳳至郡岩倉村
(石川県輪島市町野町西時国)
 神奈川大学日本常民文化研究所
 編集・発行
 ●2019年12月発行
 奥能登調査研究の一環として1993年から整理を開始した岩倉寺文書の目録。永禄元年～昭和40年の全2868点の目録を所載。聖教類のうち奥書・墨書、印などについては補注を付した。「岩倉寺文書 改題」(畠山聡)、「神奈川大学日本常民文化研究所による岩倉寺文書調査・整理の経緯」(関口博巳)、巻末には岩倉寺文書年代順一覧表を掲載。



昭和戦前期の青年層における民俗学の受容・活用についての研究
国際常民文化研究機構 共同研究
[奨励] 調査報告書 第28集
 神奈川大学日本常民文化研究所・神奈川大学 国際常民文化研究機構編
 ●2020年2月発行
 本研究は、1920～30年代において、当時形成されつつあった民俗学が農山漁村の青年たちにどのように受容され、郷土の生活・生業の考察と改善に活用されたのかについて明らかにし、特に青年団の中央組織である日本青年館および大日本連合青年団の事業に焦点をあわせ、事業にかかわった青年と、青年に期待した知識人の取り組みについて考察した。



民具マンスリー
第52巻第1号～第12号
 神奈川大学日本常民文化研究所編集・発行
 ●2019年4月～2020年3月(毎月10日)発行
 1968年に創刊した『民具マンスリー』は、民具を中心とする物質文化研究をテーマとする雑誌の中では最も古い歴史をもっており、民具研究の発表の場や交流の場としての役割を果たしている。2019年度よりカラー版となり通巻624号まで刊行された。各号目次は日本常民文化研究所Webサイトをご覧ください。
<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/ningu/index.html>



年報 2018
 神奈川大学日本常民文化研究所編集・発行
 ●2020年2月発行
 日本常民文化研究所と国際常民文化研究機構における2018年度の研究活動をまとめた報告書。巻頭カラーでは各共同研究に関わる調査・資料をはじめ、展示および収蔵資料の写真を掲載し、視覚的に訴える内容となっている。本文では第I部「研究活動報告」、第II部「成果発信」、第III部「活動記録」の三部構成とし、常民研所員、および国際常民の共同研究代表者による報告文と活動の詳細なデータにより、記録性を重視している。内容は神奈川大学学術機関リポジトリで公開しています。日本常民文化研究所Webサイトよりご覧ください。
<http://jominken.kanagawa-u.ac.jp/publication/annual.html>

[入手方法]
 『歴史と民俗』のご購入については、平凡社までお問い合わせください。
 そのほかの刊行物については、神奈川大学日本常民文化研究所までお問合せください。
 TEL : 045-481-5661 (内線 : 4358) FAX : 045-413-4151

非文字資料研究センター 新刊のご紹介

非文字資料研究叢書 3
東アジアにおける租界研究 その成立と展開



● 出版社：東方書店 / 出版年：2020年3月 / 価格 5,500円

第1部 天津租界と日本

近藤恒弘氏に天津日本租界での体験を聞く(聞き手：大里浩秋・栗原純)
天津の日貨排斥運動と写真資料——非文字資料研究の手がかりとして(孫安石)
天津近代の商業空間と都市娯楽文化——外国租界のなかの中国民間資本と中国人(菊池敏夫)

第2部 青島と日本

都市ガイドブックと近代青島における空間の変遷(馬樹華・趙成国／荒井直子訳)
第一次占領期における青島軍政署の都市開発——日本人新市街「新町」の形成を中心に(単荷君)

第3部 漢口と日本租界

漢口と日本人居留民——概観と関連史料紹介(津久井弘光)
漢口の旧日本租界地の建築について(内田青蔵)
軽井沢と蘆山の成立からみた日・中の避暑文化と避暑地の開発(内田青蔵)

第4部 蘇州と日本租界

蘇州日本租界開設交渉——荒川巴次・黄遵憲の六条合意(一八九六年四月)への道程(川島真)
旧蘇州日本租界に関すること(大里浩秋)
蘇州の日本租界と近代都市の形成(巖明／神谷純枝訳)
蘇州日本租界と片倉製糸——『蘇州市第一絲廠廠志』抄訳(山口建治)

第5部 朝鮮・仁川の租界

近代朝鮮における清国専管租界と朝鮮華僑(李正熙)
近代植民地都市・京城の景観(冨井正憲)
仁川の干拓と都市開発の歴史の変遷(金龍河／孫安石訳)

日本近世生活絵引 琉球人行列と江戸編



日本の近世は、参勤交代や各種祭礼、外国使節などの行列が定期的／日常的に列島を往来する「行列の時代」であった。この時代の特徴を鑑み、本センター第4期(2017-2019年度)共同研究では、近世人の生活の一部であった「行列および行列を迎える都市空間の様相」を分析・研究し得る好素材として、1850年に江戸へ参府した琉球使節行列とその前後の江戸の町の様子を描いた絵巻『琉球人行粧』・『琉球人往来筋賑之図』全3巻を取り上げ、「絵引」の形で編纂を行った。あわせて関連する地図・絵図を多数選定し、参考資料として収録し、「絵引」の理解が広がり深まるよう努めた。

発行日：2020年3月発行
編集：『日本近世生活絵引』琉球人行列と江戸編編纂共同研究班
発行：非文字資料研究センター

- 目次
まえがき
凡例
I 琉球人行粧 卷一
II 琉球人行粧 卷二
III 琉球人往来筋賑之図
IV 参考資料
解題と考察
付録